

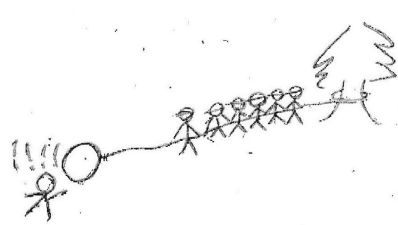
2011スカウトフェスタ コーナープログラム計画書

部門 カブスカウト	使用場所	コーナー名称 方位(8方位ゲーム)
計画書作成者: 西大寺第5団カブ隊 岡崎高宏		当日担当者: 西大寺第5団 カブ隊
準備品 ○参加者準備品 筆記用具 ○当日担当者準備品 方位磁石、マーカー、メジャー、竹さし、指令書、テーブル コーナー看板(あれば)、ひらがな		経費 方位磁石 マーカー メジャー 竹さし 指令書 ¥5,000 程度
内容 1. スタート地点にマーキングする。 2. 1. の地点を起点に、指令書に従って、方位磁石を使用し、進んでいく。 3. 2. の地点を起点に、指令書に従って、方位磁石を使用し、進んでいく 4. 最後の指令が終わったところにマーキングをする。 5. 1. のマーキングと4. のマーキングの距離を測る。 6. 5の距離が30cm以内なら「ひらがな」を獲得 7. 「ひらがな」を獲得したら次のコーナーへ移動		
安全対策、その他		

2011スカウトフェスタ コーナープログラム計画書

部門 カブスカウト	使用場所	コーナー名称 国旗当て
計画書作成者:西大寺第1団 砂場一昭		当日担当者:西大寺第1団 砂場一昭
準備品 ○参加者準備品 筆記用具 ○当日担当者準備品 テーブル1個 PPロープ・クリアファイル・国旗(A4用紙に印刷したもの)		経費 国旗及び解答用紙の コピー代 約2,000円
内容 国旗(A4サイズ)を10～15種類程度、掲揚しておいて、国旗の名前を当てる。 できない組には、首都、通貨、食べ物、あいさつ、動物などその国に特有のヒントを与え、 正解に導く。 国旗の名前を、解答用紙に記入し、正解の場合はスタンプを押す。 5個正解できればクリアとする。		
安全対策、その他		

2011スカウトフェスタ コーナープログラム計画書

部門 カブスカウト	使用場所	コーナー名称 ロープワーク
計画書作成者: 玉島5団カブ隊 安田 明		当日担当者: 玉島5団カブ隊 安田 明
準備品 ○参加者準備品 筆記用具、ロープ ○当日担当者準備品 ブルーシート・PPロープ・ペグ数本・クリアスタンプ or シール		経費
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・まずロープでメンバーが入れる輪を作ります。(両端を本結び) これがコーナー内の移動手段です。 想定はお助けカーです。(救急車?) 湖に困っている人がいます。(溺れそうです。) ロープの片方の端を樹に結わえます。(巻き結び、引きとけ結び、ふた結び) もう一方の端にもやい結びをして、それを投げてその人を助けます。 助け上げられたら、お助けカーに収容してロープを片付けます。(えび結び) ・大会テーマにあるように「きづな」を大切に、サブテーマの「いま、わたしたちにできること」を 組みこんで考えました。 ・組のメンバーが協力して目的を達成する。 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>		
安全対策、その他		

2011スカウトフェスタ コーナープログラム計画書

部門 カブスカウト	使用場所	コーナー名称 計測
計画書作成者: 玉野第一団カブ隊 池本 守		当日担当者: 玉野第一団カブ隊 池本 守
準備品 ○参加者準備品 筆記用具 ○当日担当者準備品 テーブル(2)、30~50m メジャー、PPロープ、ペグ数本、電卓、計算用紙、 クリアースタンプorシール、賞品		経費 スタンプorシール PPロープ 賞品 他 ￥10,000
内容 自分の歩幅で長さを計測する。 ・あらかじめ決めている(10m)を何歩で歩けるか、2~3度往復し平均歩数を知る。 ・自分の歩数を(10m)で割り一歩の歩幅を知る(リーダー(コーナー)が計算) ・一歩の歩幅を頭に入れ、次の長さに挑戦し、長さを計る。 ・長さをコーナーリーダーに報告する。 ・正しい長さを教えてもらう。 クリアースタンプかシール、賞品を受け取る。		
安全対策、その他		

2011スカウトフェスタ コーナープログラム計画書

部門 カブスカウト	使用場所	コーナー名称 暗号解読
計画書作成者: 浅口2団カブ隊 山下 裕樹		当日担当者: 浅口2団 カブ隊 4名
準備品 ○参加者準備品 筆記用具 ○当日担当者準備品 暗号本題 事件ファイル3種 , 宝箱 4個 宝箱を縛り付けるチェーン 4つ , チェーンを留める数字式のカギ 4つ		経費 ¥7000 程度
内容 1. 宝箱にコーナークリア条件のひらがなを入れておく。 2. 宝箱にチェーンをかけ、カギをかける。 3. 暗号の本題を3種類渡す。 4. 3種類の暗号本題の正解の数字が、宝箱チェーンのカギの数字である。 5. 簡単に正解するようなら、暗号についての説明(起源や利用方法等)をする。 宝箱が高価(1個 ¥1500)で、4個しか用意できておりません。 時間差で箱を開けさせる方法を優先的に行ない、同時に6組を超えるようなら他ポイントへ誘導します。		
安全対策、その他 施設のトイレを開放していただきたい。 雨天時は、施設内での実施としたい。		

2011スカウトフェスタ コーナープログラム計画書

部門 カブスカウト	使用場所	コーナー名称 色当て
計画書作成者: 津山第一団カブ隊 宮地 正人		当日担当者: 津山第一団カブ隊 宮地 正人
準備品 ○参加者準備品 筆記用具 ○当日担当者準備品 色画用紙、両面テープ、ビニールテープ(赤)		経費 ◆色画用紙8色 × 10枚 (1枚から12名分) = ¥105 × 10冊 = ¥1050 ◆両面テープ 1個(5cm×120=6m) = ¥105 ◆ビニールテープ(赤) 1個 = ¥105 <div style="text-align: right;"> <u>合計 ¥1260</u> </div>
内容 ゲーム名) 秋の色をさがしに行こうゲーム やり方) ① 各組の人数分の色画用紙を一人一枚ずつ配る。 ② スカウトは、配られた色画用紙と同じ色の葉っぱや、木の実、枝などを周りから集め、色画用紙に貼り付け、見つけた場所を色画用紙に記入する。 ③ 見つけたものを、コーナー担当に、見つけた場所・色(例: ちょっと茶色い赤等)を報告する。 ④ コーナー担当は、画用紙の色と見つけた物の色を確認し、完了したスカウトを、並んで座らせる。 ⑤ 組の全員が完了した時点で、担当リーダーが、ひらがな一文字を組長に渡し、次のコーナー探しを指示する。 ⑥ 色画用紙とみつけた物は各自で記念として持ち帰る。 [注意事項] ・探しに行く範囲を事前にスカウトに分りやすく決めておく。赤のビニールテープを枝に巻きつけておく。 ・必要以上に、枝を折ったり、葉っぱや実を取ったりしない。 ・終わったスカウトは、立ち歩かない。まだ探しているスカウトを、座って応援する。		
安全対策、その他		

2011スカウトフェスタ コーナープログラム計画書

部門 カブスカウト	使用場所	コーナー名称 ゲームコーナー「トレジャージャンケンリレー」
計画書作成者:新見1団カブ隊 森浩紀		当日担当者:新見1団カブ隊 森浩紀
準備品 ○参加者準備品 ○当日担当者準備品 (箱×2、宝物×12)×5 ロープ		経費
内容 ① . スカウトは自分の組の引率リーダーとジャンケンをする。 ただし、後出しで負けること。 ② . 負けたらリーダーより宝物を1個もらえる。 ③ . 負けるまでリーダーとジャンケンをする。 ④ . 宝物12個。全部そろったら、組員全員でゲーム責任者の所に行き、宝物と交換で 「ひらがな一文字」 をもらいゲームをクリアする。 [注意事項] ロープでスタート地点を設定します。 ジャンケンで勝つとスタート地点まで戻り再び挑戦します。 負けるまでジャンケンします。		
安全対策、その他		